

2014年5月2日

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 0 7 5 4


「レブラミドカプセル5mg」の誤投与防止について

抗造血器悪性腫瘍剤「レブラミドカプセル5mg」（セルジーン）は、販売開始から2014年4月までに、患者間違いによる誤投与が3件発生しました。なお、現時点で本件による健康被害は報告されていません。いずれも入院病棟において、看護師が与薬する際に患者氏名の確認をしなかったことが要因の一つとして挙げられています。

本剤はヒトでの催奇形性を有する可能性があることから、胎児への曝露を回避するための適正管理手順（RevMate：レブメイト）が定められています。当院では、処方医師及び使用患者を限定して対応していますが、本剤を与薬する際にも、**必ず患者氏名の確認を行って下さい。**

また、**血液・腫瘍内科以外の診療科での入院において、本剤の持参薬を使用する場合は、下記の当院における取り扱い手順を遵守するとともに、薬剤部へ連絡して下さい。**

- ・カプセルシートは「レブメイトキット」に入れ、「毒薬」として**施錠可能な場所に保管**
- ・薬剤師と入院時の持参薬数を確認した上で、薬剤部より「レブラミドカプセル施用票」をもらい、投薬内訳等を記入
- ・**空のカプセルシートは次回処方時に必要となるため棄てずに保管**

オーダ名	レブラミドカプセル5mg
成分名、規格	レナリドミド水和物、5mg／カプセル
適応症 用法用量	・再発又は難治性の多発性骨髄腫：デキサメタゾンとの併用において、成人には1日1回25mgを21日間連日経口投与後、7日間休薬。これを1サイクルとして投与を繰り返す。患者の状態により適宜減量 ・5番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群：成人には1日1回10mgを21日間連日経口投与後、7日間休薬。これを1サイクルとして投与を繰り返す。患者の状態により適宜減量
外観写真	
区分	処方／入院・院内（ 毒薬 、医師限定、患者限定）

*詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

*「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。